

事業所名 めろん島

公表日 2026年 3月 7日

利用児童数 2025年 12月 28日

回収数 49名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88%	6%	2%	4%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	96%	0%	0%	4%	1対1での対応で丁寧に接して下さっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	82%	10%	2%	6%	ビルの構造が複雑で、段差が多い。	ビルの構造について、ご不便をお掛けし申し訳ございません。複数の部屋を使用できる環境を活かし、構造化された空間づくり、わかりやすい情報伝達に取り組んでまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	88%	8%	0%	4%	トイレがごちゃごちゃしてた	ご意見をありがとうございます。この度、トイレ内の配置を見直し、高さのある棚を撤去いたしました。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	2%	0%	4%	親は専門家ではないので、質問の仕方が微妙ですね。(項目6～10も同様)	質問内容について、わかりにくい部分があり申し訳ございません。こちらのアンケートは、こども家庭庁の公表している様式を参考に作成しております。ご不明な点につきましては、ご説明させていただきますので、職員へのお声かけをお願いいたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	98%	0%	0%	2%	ペアトレに参加させていただき、家での困りごとの解決につながりましたありがとうございます。	ペアレントプログラムへのご参加、ありがとうございます。来年度は、ペアレントプログラムや個別相談等の機会をより多く設けられるよう取り組んでまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98%	0%	0%	2%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	2%	0%	4%		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	42%	8%	13%	38%		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	89%	6%	0%	4%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	94%	4%	0%	2%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%	2%	0%	2%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96%	2%	0%	2%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67%	19%	0%	15%	兄弟向けのイベント	ご意見をありがとうございます。ごきょうだいにもご参加いただき交流につながるようなイベントの企画も検討させていただきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	2%	0%	8%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	8%	0%	2%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%	2%	0%	10%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	4%	2%	2%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84%	12%	0%	4%	重要事項説明書に記載されている内容については、把握しております。	ご確認ありがとうございます。ご不明な点がありましたら、職員までお問い合わせください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	98%	0%	0%	2%	ビルをつなぐ階段がくずれた場合、どのように避難するのか決まっているのでしょうか。	ご質問ありがとうございます。めろんビル、ふろ一つビル(すいかの部屋のビル)ともに非常階段があり、どちらからでも避難ができる構造になっております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	96%	2%	0%	2%		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	82%	2%	0%	16%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	96%	0%	2%	2%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	88%	12%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%	0%	0%		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 めろん島

公表日 2026年 月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・規定人数を確保しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		・構造化については、今後もこまめに見直して随時改善していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・職員会議の日に勉強会を行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・遠城寺やCARSといった評価ツールを使用しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・時間を決めて行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%		・時間によって、出来ない日がある為、必ず振り返りの時間を行い、記録を文面に残すようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		非該当
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・必要(要望)に応じて行っています。 ・対象の拡大をしたいと思います。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・必要(要望)に応じて行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%	・職員が園を訪問する機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		・ペアレントトレーニングの回数を増やしていきたいと考えております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・定期的に参観日を行うようにしております。 ・参観日の時には保護者会を開催しております。	・保護者会を行う際に、テーマを明確にしていきたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・毎月、事業所新聞を発行して配布しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%	・今年度は6月22日に療育・保護者支援連携の説明会を行いました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・毎月奇数月に避難訓練等を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・保護者様から情報共有してもらっています。 ・医師からの用紙があれば控えております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・該当することがあった場合、作成して全職員に共有しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・初利用のガイダンスの際には説明させていただいております。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	めろん島(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 50名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 30日		～ 令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容を充実させていること	・季節に応じたイベントや取り組みを行うことで、お子さまが楽しめるよう工夫しています。	・お子さまの様子や個々の発達段階に合わせた支援をより充実させていきます。
2	・運動や音楽クラブ、保護者相談会、ペアレントプログラム、参観日などの企画を設定していること	・運動、音楽クラブは月に1回開催しています(年長:火曜日、年中:木曜日)。 ・今年度は参観日や保護者会を3回実施しており、集団療育の参観と同時に親子で一緒に参加できる活動(親子遊び、製作活動など)を設定しています。	・運動・音楽クラブは保護者様の要望やお子さまの興味、得意を伸ばす為に充実させていきます。 ・企画やイベントへの参加人数を確保するため、日程や人数調整を行っていきます。 ・保護者支援にも積極的に取り組んでいきます。
3	・様々な職種の職員が在籍していること	・心理師、作業療法士、保育士、言語聴覚士などが在籍していることから、さまざまな面からアセスメントや話し合いを行っています。	・療育に反映できるような専門性を高めた取り組みを行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様との十分なコミュニケーション時間の確保ができていないこと。	・送迎の際に療育内での様子は共有できるが、その際に家庭での困りごとなどを聞き取る時間が少ないことが考えられます。	・保護者様の方から相談がしやすいように、質問表を作成し、相談の機会を増やしていきます。
2	・遅れて来所された場合、時間によっては設定活動に満足いくまで参加することが難しいこと。	・プログラムの流れが決まっていることから、来所のタイミング(開所から1時間以上の遅れ)によっては途中からの参加となることがあります。	・途中からの参加の場合も、自由遊びの時間に個別的に取り組んでいきます。 ・参加できなかった活動で、次回の療育でできるものであれば、機会をつくり経験ができるようにしていきます。
3	・支援終了後に職員間で十分な振り返りを行えていないこと。	・在籍しているスタッフに子どもの送迎が必要なスタッフが多く、振り返りに時間をかけられないことがあります。	・勤務時間内の話し合いの時間を確保出来るように、時間配分を考えます。 ・振り返りを行えたスタッフで振り返りの記録を残し、振り返りに参加できなかったスタッフは次回出勤日に内容を見返して全体周知していけるようにします。